

2 - 2 重点事業評価

事業名

電子図書館サービスの充実

(1) 事業の概要

● 対象

図書館に直接来館する利用者だけではなく、距離的理由や身体的理由などにより、来館が困難な利用者。

● 意図・目的

当館の独自データベースの拡充によって、インターネット等による電子媒体を活用した情報提供サービス（電子図書館サービス）の充実を図ることにより、県立図書館のサービスを「だれでも」「いつでも」「どこからでも」利用できる環境の整備を進めていく。

● 具体的取組の概要

- ①「越後佐渡デジタルライブラリー」による新潟県関係歴史資料のデジタル化とホームページ上での公開を、MLA連携等によって推進するとともに、レファレンスツールである「郷土人物／雑誌記事索引データベース」などの独自データベース登録件数を増加させ、情報利用の利便性と効率性の向上を図る。
- ②当館ホームページを経由して利用する音楽ライブラリーの、利用の促進を図る。
- ③県内MALUI連携によって、当館の所蔵する「郷土新聞画像データベース」のインターネット上での公開を目指す。

(2) 指標①（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
郷土人物／雑誌記事索引データベースの追加登録件数	年間 5,000点	5,312点 (106%)

（平成27年度実績：4,238点）

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	AA（106%）	目標値を上回る数のデータを登録し、目標が十分に達成された。
------	----------	-------------------------------

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	郷土関連のレファレンスで必要性の高いオリジナルデータベースの充実は、公共図書館にとっては必要不可欠である。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	郷土人物索引は2,560件、郷土雑誌記事索引は2,752件増加した。貴重な郷土資料の数々がデータベースの採録対象となっており、当県の郷土研究等にとってたいへん有用なツールとなっている。今後は、より多くの利用に繋がるよう、「郷土新聞画像データベース」等とあわせて周知を図っていきたい。

効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	雑誌記事索引の入力において、特に遡及分は旧字体であり確認しつつ作業を進める必要があったため時間を要した。目標には到達したが、今後は進捗管理をいっそう徹底し、効率的かつ迅速に公開に繋げることを心がけたい。
-----	--------------------------------	---

(4) 次年度の展開

<p>方向性・問題点・改善点など</p> <p>今後も郷土人物・雑誌記事索引の一層の充実を図りつつ、MLA連携による越後佐渡デジタルライブラリーの拡充とともに、MALUI連携による「郷土新聞画像データベース」の周知と充実に取り組むことによって、電子図書館の環境整備を目指す。</p>

(5) 図書館協議会意見

<p>「郷土人物／雑誌記事索引データベース」の構築は、県立図書館としての重要な役割であることから、目標が達成されたことは評価される。協議会委員からも「一層の蓄積を希望する」という意見が出されている。短期的な効果が表れるような業務でないことは承知しており、むしろ、今後も丹念な入力作業を継続できる態勢の確保が必要であると考え。また、「地域の図書館が所蔵する郷土資料について、紛失や廃棄を防止するためにも、インターネット上で公開されることが望ましい」という意見が出されており、市町村との連携による貴重資料のデジタル化の取り組み（「越後佐渡デジタルライブラリー」の拡充）の継続を求めたい。</p> <p>新規事業であるMALUI連携による「郷土新聞画像データベース」の公開については、その成果が期待される。協議会委員からは「広報の強化が必要である」との意見も出されている。</p> <p>電子書籍の導入について「検討してはどうか」という協議会委員からの意見を踏まえて、定期的な状況把握と、短期的・長期的な判断が求められる。</p>
--